



ミネベアミツミグループ

ESG事例集

サステナビリティ推進部門



# ESG 別代表事例

掲載ページ

 nvironment   環境	3 - 13
 ocial   社会	14 - 29
 overnance   ガバナンス	30 - 31

# 当社製品はほぼ全て環境貢献型製品 省エネルギー、省スペースに貢献

## SDGs17の目標



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



つくる責任  
つかう責任



気候変動に  
具体的な対策を

企業活動そのものを通じて  
**省エネルギーや地球環境改善に貢献する製品を創出**

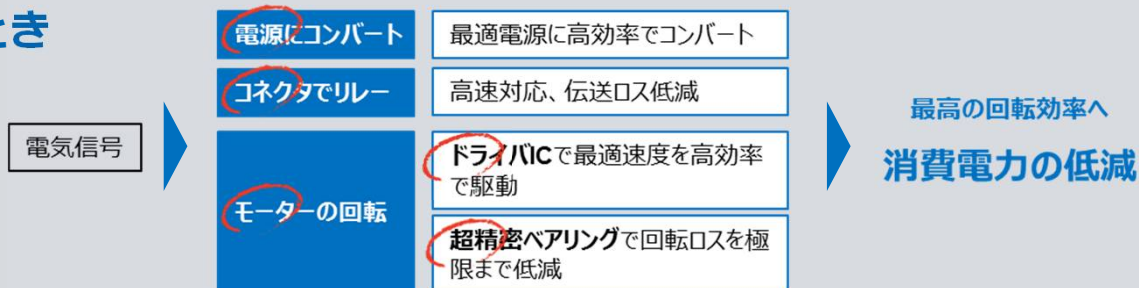
特に環境貢献に優れた製品をミネベアミツミグリーンプロダクツとして認定する  
**グリーンプロダクツ制度を2019年に導入**

⇒重要なKPIとして目標設定



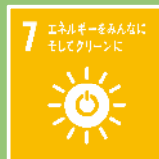
8本槍製品の「相合」 = 「エネルギー最適化」

モノを動かすとき



# 当社製高品質ベアリングがCO2排出量削減に大きく貢献

## SDGs17の目標



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



つくる責任  
つかう責任



気候変動に  
具体的な対策を

1年分のFAN向けベアリングの生産で  
**当社の年間排出量以上のCO2を削減！**

(以下にて当社試算)  
FAN向けベアリング年間出荷数量：7億個（21/3期見込み）  
FAN1個当たりベアリング個数：2個  
FAN1個当たり消費電力削減量：1.23kWh/年  
(当社調べ、他社製ベアリングが使用された場合との比較)  
FANの製品ライフ：5年（24時間365日稼働）  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.496kg/kWh（環境省より）

**削減**

**100万トン**



当社製ベアリングを採用することにより  
サーバーFANが製品ライフ中に削減できる  
CO<sub>2</sub>排出量の総量

**総量**

**約80万トン**



当社全体のCO<sub>2</sub>排出量  
(20/3期実績)

当社のほぼすべての製品は環境配慮型製品となっており  
それらを開発・販売することで、地球温暖化や廃棄物削減等の  
**環境課題の改善に大きく貢献**

# スマートシティソリューション

## SDGs17の目標



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



つくる責任  
つかう責任



気候変動に  
具体的な対策を

## 道路灯を中心に無線ネットワークを構築

このネットワークを基盤として、様々なセンサー機器をつなげることでソリューションを提供。

## スマートライティング

### 省エネ

独自の光学技術を活かしたLED道路灯を  
更に調光制御することで、  
水銀道路灯比で **約90%** 電力料金削減、  
CO2排出量削減に貢献

### 無線通信

無線通信により点灯状況消費電力量をモニタリングが  
可能。

### カンボジア

→プノンペン、シェリムアップなどにおいて**23,000**灯

### チリ

→サンティアゴにおいて**23,000**灯

全世界で**60,000**灯へ。



スマートシティソリューション



プノンペン市内の街路灯

# スマートシティソリューション

## SDGs17の目標



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



つくる責任  
つかう責任



気候変動に  
具体的な対策を

## スマートLED道路灯と環境センサーを活用した スマートシティソリューションの実証実験を開始。

### 杉並区 スマートライティング+環境センサー

環境センサーを組み合わせることで、温度・湿度・気圧・風速など様々なデータを取得し、住民に提供する事が可能になる。

### 大阪府 スマートライティング+環境センサー+カメラ

環境センサーに加えカメラを組み合わせることで、環境データに加え、交通量・路上の冠水等を把握することを目指す。

### 日本気象協会 スマートライティング+環境センサー

データを活用し、日照量・太陽光発電出力予測の精度向上を図る取り組みを連携して実施。



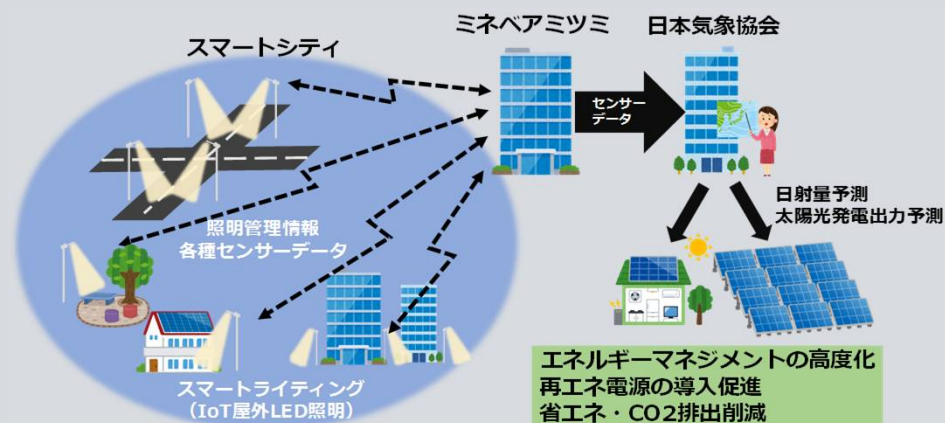
スマートLED道路灯

### 環境センサー

風速・風向、温度・湿度、気圧、降雨の有無、照度、UV、加速度を把握できるセンサー



### 日本気象協会との連携のイメージ 日照量・太陽光発電量予測の高度化



## クリーンブースト（蓄電昇圧回路技術）

### SDGs17の目標



気候変動に  
具体的な対策を



海の豊かさを  
守ろう



陸の豊かさも  
守ろう

### CLEAN-Boost®（クリーンブースト）技術

エイブリックが2017年10月に発表した **CLEAN-Boost®（クリーンブースト）** 技術はこれまで電力として活用できなかった微小なエネルギーを蓄電・昇圧し、無線発信などを可能にするエネルギーハーベスト（環境発電）を後押しする世界初の技術です。

主となる蓄電昇圧回路技術は、立命館大学との共同研究によって生まれたものです。

一滴の水分や、土壌に生息する発電菌から得られるごく小さな電力だけで無線発電が可能になるため、電池レスの無線センサーを実現することができます。



水分発電センサー



発電菌土壌センサー

#### 電池レスのメリット

電源が要らないから配線不要。  
メンテも減らせる。

電池が要らないから電池交換  
不要。

電池ゴミが出ないから環境に  
やさしい。

## クリーンブースト（蓄電昇圧回路技術）

### SDGs17の目標



13 気候変動に  
具体的な対策を

気候変動に  
具体的な対策を



14 海の豊かさを  
守ろう

海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう

陸の豊かさも  
守ろう

### <実例> 「バッテリーレス漏水センサ」

漏れた水で自己発電を行い、無線により漏水を信号を送信する。

**CLEAN-Boost®（クリーンブースト）** 応用製品。大成建設（株）との共同研究から生まれた製品で、2019年7月より発売開始。

電源を一切使用しないため、大掛かりな工事や電池交換の手間がありません。

メンテナンスの手が届かなかった場所にも、簡便に後付けで設置可能です。

本センサーの設置により、初期段階で水漏れを感知することができ、トラブル発生や被害が拡大する前に対応することが可能になります。

コストと時間の両面で大幅な省力化が実現でき、環境負荷軽減にも大きく貢献します。



バッテリーレス漏水センサ



【設置例】

設置方法は無線タグをつけた漏水センサーリボン  
巻き付けるだけ。利用シーンは、住宅、商業施  
設、インフラ設備、工場設備、サーバーームなど



## 再生可能エネルギーの活用

### SDGs17の目標



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



気候変動に  
具体的な対策を

タイ工場棟の屋上スペースに  
タイ最大級の太陽光パネルを設置。

**環境負荷低減**  
**CO2削減**  
**コストダウンを図る**

**総設置面積 : 30,000㎡**  
**発電能力 : 5メガワット**



太陽光発電システムオープニングセレモニーでの  
BOI（タイ投資委員会）長官のリモートメッセージ

### ロップリ工場




### バンパイン工場




## 再生可能エネルギーの活用

**SDGs17の目標**



7 エネルギーがみんなに  
そしてクリーンに

エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



13 気候変動に  
具体的な対策を


気候変動に  
具体的な対策を

**広島工場事務棟の屋上**


太陽光パネルを設置し電力料金削減、CO2排出量削減に貢献。発電状況はエントランスのモニターで確認が可能。  
(設置面積：1,205m<sup>2</sup>、発電能力：182kw)

**中国中山工場の宿舍棟**

無錫工場に太陽熱温水装置を設置し、電力料金削減、CO2排出量削減に貢献。  
(設置面積：中山工場1,000m<sup>2</sup>、無錫工場46m<sup>2</sup>)




太陽光パネル（広島工場）



太陽熱温水装置（中国・無錫）


## 排水処理・省エネ工場

**SDGs13の目標**




13 気候変動に  
具体的な対策を

気候変動に  
具体的な対策を



14 海の豊かさを  
守ろう

海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう


陸の豊かさも  
守ろう

工場廃水の完全回収、再利用をおこなう最先端排水ゼロシステムのアジア地域の4工場への導入や、LED照明や遮熱塗料の使用をはじめとしたあらゆる技術を活用した

**究極の省エネ工場の実現**

↓

**東南アジア主要工場の照明機器LED化、  
遮熱塗料の使用で年間電力料金を3億円削減、  
CO2排出量削減に貢献。**



上海工場排水処理センター

## 省エネ活動

### SDGs17の目標



気候変動に  
具体的な対策を



海の豊かさ  
を守ろう



陸の豊かさ  
を守ろう

### ドイツ子会社myonic

消費電力の少ないインバータ制御の複数の小型ブラシレスDCファンモータによるセントラル空調システム、自己学習機能を備えた省エネ・圧力変動幅の少ないエアコンプレッサー制御システムを導入することで、CO2排出量削減に貢献。

#### セントラル空調システム

2021年4月に導入の見込  
(年間 55,000kWh削減)



旧方式の大型ベルト駆動ファン

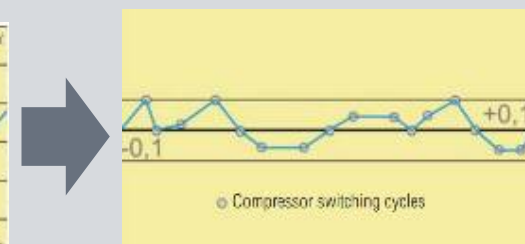


#### エアコンプレッサー制御システム

2018年末から導入  
(年間 47,000kWh削減)



複数のコンプレッサーを  
各々段階的に制御



複数のコンプレッサーを設定  
圧力帯域内に収まる様に制御

## 植林活動

### SDGs17の目標



気候変動に  
具体的な対策を



海の豊かさを守ろう



陸の豊かさ  
を守ろう

セブ島のマングローブ植林活動のほか、アンコールワットがあるシェリムアップ地区やタイ、マレーシアでの植樹活動に参加。セブ島のマングローブ植林活動は2011年から活動開始して、これまでに50,000本を植林。



セブ島のマングローブ  
植林活動（フィリピン）



シェリムアップ地区の植樹活動  
の集合写真（カンボジア）



野生保護区での植林活動の  
集合写真（タイ）



森林保護活動の集合写真  
（マレーシア）

## 廃プラスチック削減・廃棄物分別/リサイクル



つくる責任  
つかう責任

- カンボジア工場が2019年12月3日国際フォーラムで**廃プラスチック活動**を発表。
- タイでオリジナルバックを作成し、工場内の売店で買い物をする際ビニール袋を断るとポイントがたまる工夫をして廃棄プラスチックを3割削減。
- タイで近隣の子供達に廃棄物分別とリサイクルの講習2013年から毎年実施。



廃プラスチック活動の推進  
国連開発計画（UNDP）

SDGs17の目標



気候変動に  
具体的な対策を



海の豊かさ  
を守ろう



陸の豊かさ  
を守ろう

## 情報開示・第三者評価・外部認証

2020年8月

**TCFD（気象関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同**を表明。

情報開示を含めた取り組み強化へ。



**CDP（\*）気候変動2020、CDPウォーター2020ともに「A-」**を獲得。

（\*）2000年に英国で設立された非営利団体で、機関投資家と連携し、企業や都市に気候変動、水、森林に関する戦略やデータの開示を求め、回答に基づく分析・評価を行い、機関投資家などに結果を開始している。



世界中の主要な74拠点で

**国際的な環境マネジメント規格ISO14001**の認証を取得。

## サプライヤーとの協力

**アメリカ子会社ニューハンプシャーボールベアリング**

主要なサプライヤーと定期的な情報交換会を行って、環境面の取り組みを共有するとともに、エネルギー使用量の削減や資源のリサイクルを支援。（年4回）



サプライヤーとの情報交換会（米国）

## 新型コロナウイルス対応

### SDGs17の目標



すべての人に  
健康と福祉を

人工呼吸器や人工心肺装置などの様々な医療機器に、ベアリング、各種モーター、センサー、電源、半導体、コネクタなどを供給。

N95マスク22万枚のほか、ゴーグル、フェイスガード、クリーンスーツ、頭巾、ニトリルグローブ、ガーゼ等の医療用アイテムを16カ国150機関に寄贈。

外部への感染被害抑止および社員の安全確保を前提とした供給責任を果たすため、2020年4月から **自社製高捕集効率フィルタ使用不織布マスクの生産を開始**し、衛生教育等を徹底。日本におけるマスク不足の状況から、マスクを必要としているさまざまな方々に少しでもお役にたてるように、2020年6月から **外部販売を開始**、2021年1月時点で累計**2,900万枚生産・600万枚販売**。

**自社製マスク13万枚**をカンボジア保健省、フィリピン医療機関、タイ投資委員会などに寄贈。



ドイツ医療機関へのN95マスク寄贈



ミネベアミツミマスク



自社製マスクの生産

**社外への感染被害抑止および社員の安全確保に取り組むとともに、  
生産・営業活動を含む事業活動全般において、  
部品メーカーとして供給責任を果たしてまいります。**

# ダイバーシティ・女性活躍

## SDGs17の目標



ジェンダー平等を  
実現しよう

## 女性活躍の推進・強化

女性活躍の推進を目的とするプロジェクトチームを発足し、当社国内グループ各社の従業員を対象にダイバーシティセミナーを実施し、女性社員や男性上司を含めて約500名が参加。

## 女性活躍の現状

- 女性のグループ執行役員(\*)数は 2名。
- 当社の女性取締役の数は 2名。(取締役総数は12名)  
(グループ執行役員総数は14名)
- グループ全体の女性従業員数は 5万人。(従業員全体の64%)
- グループ全体の女性管理職数は 430人。(管理職全体の15%)
- スイス子会社Paradox Engineeringの経営陣6名のうち半数の3名が女性。

(\*)当社のグローバル化を加速し、各国のローカル従業員が目指す目標のひとつとして2010年に導入。海外現地法人のローカル従業員から選出され、本社の経営会議にも参画。

**業務の特性や能力に応じて女性の活躍の機会を拡大し、高品質製品を安定的に世界のお客様に供給しています。**



ダイバーシティセミナーの基調講演



ボールベアリング事業部  
3代にわたる技能継承



女性の積極採用を目指すチーム



女性社員ホンネ座談会

# ダイバーシティ・インターナショナル

## SDGs17の目標



人や国の不平等をなくそう

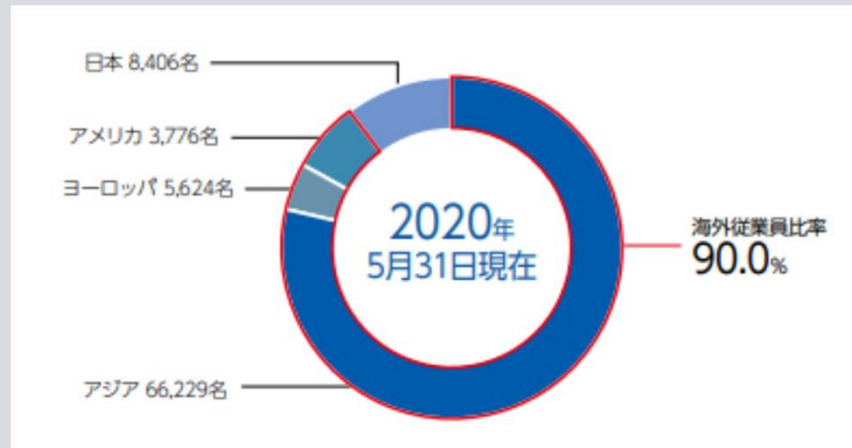
優秀な人材を性差、国籍、文化的背景、出身母体などを問わず平等に配置。

グループ執行役員制度によってグローバルに優秀な外国籍の人材を2021年3月時点でアジアから7名、米州から3名、欧州から4名とバランス良く登用、経営統合後においても会社の枠を超えた配置転換による組織活性化。



ミネベアミツミグループ海外従業員比率  
**90.0%**

地域別従業員数

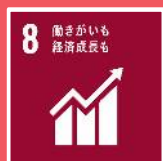


多国籍チームによるチームビルディング活動



## 働きがいのある魅力的な職場・社内インセンティブ制度

### SDGs17の目標



働きがいも経済成長も

#### 様々な表彰制度を制定

チームビルディング表彰、社長賞等

#### 信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®) を実施

加入従業員一人当たり平均の分配金は以下の通り。

第1回 E-Ship ('09/11月-'12/04月) : 約1万円

第2回 E-Ship ('12/05月-'19/01月) : 約100万円



優良社員表彰 (カンボジア)

#### 従業員持株会加入率67% (2020年12月時点)

「株価は会社の成績表」という考えの下、社員が当社株式を所有することで「従業員の視点」だけでなく、「株主としての視点」を併せ持ちながら、社員一人ひとりが業績向上に向けた情熱をさらに高めるため、持株会制度への加入を促進。

#### 多くの従業員に海外赴任の機会を提供

2021年1月時点の海外赴任者数は615名。

#### 次世代のリーダー育成を目標にして従業員を米国ビジネススクールへ派遣

(派遣期間は1年、2013年から毎年1名を派遣)

海外ローカル社員にとって**グループ執行役員**就任が

彼らの**キャリアモデル**として**動機づけ**られている。

海外ローカル社員の日本派遣研修。業務スキル向上、日本語習得、本社の主要メンバーとのネットワーク構築を目的として、毎年アジア・欧米の海外ローカル社員を1年間研修実施。研修終了後は将来の海外拠点のローカル幹部を目指して活躍中

## 働きがいのある魅力的な職場・職場環境の改善

### SDGs17の目標



働きがいも経済も

アジア地域での衛生管理や寮の施設の充実。  
(エアコン、食事の完備等)

アジア地域の各工場に**医務室、常勤医師を配置し、従業員が心身ともに健康で勤務**できる環境を整備。  
アジア地域の工場の医務室は全26か所。

セブ工場敷地内の医療施設の無料利用。  
専門医10名、看護師18名、歯科医師1名、救急医1名の完全専門医制のクリニック



カンボジア社員寮



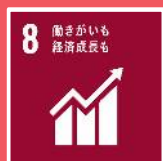
セブ工場敷地内のクリニック

## 外部認証

当社グループの量産拠点であるタイ、中国、シンガポール、フィリピン、マレーシアの主要22工場で**国際的な労働安全衛生マネジメントシステム規格OHSAS 18001**の認証を取得。

## 働きがいのある魅力的な職場・第三者評価

### SDGs17の目標



働きがいも経済も

NMBミネベアタイが労務管理体制が優秀であるとしてタイ労働保護福祉局から労務管理優秀賞を受賞。(2018年8月)



労務管理優秀賞表彰式 (タイ)

中国蘇州工場が労務管理体制が優秀であるとして蘇州工業園区社会保障局から5A級榮譽証書 (最高等級) を2016年から4年連続で受賞。



5A級榮譽証書 (中国・蘇州)

ドイツ子会社myonicが世界的な意識調査機関であるGreat Place to Work®主催の「ドイツの働きがいのある会社2020」ベスト100賞受賞。



「働きがいのある会社2020」  
ベスト100授賞式 (ドイツ)

同賞は企業が従業員にとり信頼性が高く有益で魅力的な職場風土を持つことを評価するもので、受賞は2016年、2018年に続き3回目。

山形事業所に2019年11月県知事が来訪し、翌年1月に「やまがた子育て・介護応援いきいき企業 (優秀ダイヤモンド企業)」に認定。



やまがた子育て・  
介護応援いき  
いき企業「優秀  
(ダイヤモンド)  
企業」認定書

千歳事業所が「北海道働き方改革推進企業認定制度」においてシルバー認定を受賞。(2019年6月)

## 責任ある調達

### SDGs17の目標



つくる責任  
つかう責任

ミネベアミツミグループでは「**資材調達基本方針**」(\*)を定め、これに基づき取引先と健全なパートナーシップを構築。

また、サプライチェーンを通じたCSRを推進するため、2012年3月に

「**ミネベアミツミグループ行動規範**」(\*)を基にした

「**ミネベアミツミグループCSR調達ガイドライン**」(\*)を策定。

すべての取引先(7,500社以上)に配布するとともに、取引基本契約書にも同ガイドラインの遵守を盛り込み、当社CSR活動への賛同と協力と、取引先からのサプライチェーンへの展開を要請。

さらに、取引先のCSR推進状況を把握することを目的に、

「**ミネベアミツミグループCSR調達推進自己チェックシート**」を策定。

「企業の社会的責任(CSR)推進全般」「労働」「安全衛生」「環境保全」「倫理的経営」の5分野、全54項目からなる設問を設け、これまでに主要取引先約2千社に配布、回答を100%回収。サプライチェーンにおけるリスクアセスメントを実施。

「**ミネベアミツミグループ責任ある鉱物調達方針**」(\*)を制定し、取引先にも対応を要請。

(\*) 当社のWEBサイトでご覧頂けます。

「資材調達基本方針」：<https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/procurements/policy/>

「ミネベアミツミグループ行動規範」：<https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/aboutus/Conduct/declaration/>

「ミネベアミツミグループCSR調達ガイドライン」：<https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/procurements/csr/>

「ミネベアミツミグループ責任ある鉱物調達方針」：<https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/aboutus/Conduct/response/>

## 雇用の創出・生活向上

### SDGs17の目標



貧困をなくそう



飢餓をゼロに

シンガポール、タイ、中国、カンボジア、フィリピンで工場開設時から**累計約60万人を雇用**。ベンダー、物流、警備、食堂等、当社に関する外部パートナーとのビジネスも含め莫大な雇用を創出。

当社に就職することで**従業員が豊かになり**、それを聞きつけた**近隣住民や親せきも当社に就職することで豊かになり**、ひいては**地域社会全体が豊かになる**。

貧困地域や農業従事者が大半を占める地域出身の従業員には、就業規則等の基礎教育に加えて、**衛生管理や衣食住といったディシプリンの指導**も実施。

**賃金の継続的な改善**。アジア地域で最初に進出したシンガポールの現在の平均給与は、1972年の設立当時の13.6倍、最後に進出したカンボジアの現在の平均給与は、2011年の設立当時の2.6倍。

カンボジア工場が日本政府が先導し官民連携で進めるNJPPP (栄養改善事業推進プラットフォーム) に参画しているILSI (国際生命科学研究機構) やRidgelinez株式会社依頼の下、栄養改善プロジェクト実証実験に協力。

タイで近隣地区の自立・生活向上のため大学農業技術学部の協力のもと、農業関係の講習会を実施。地域住民の自立・生活向上を支援する活動は2009年から継続。



Before: 社員Aの自宅  
(カンボジア工場就職前)



After: 社員Aの自宅  
(カンボジア工場就職後)



Before: 社員Bの自宅  
(カンボジア工場就職前)



After: 社員Bの自宅  
(カンボジア工場就職後)



栄養改善プロジェクト (カンボジア)

## 教育支援

### SDGs17の目標



質の高い教育を  
みんなに

タイオペレーション10周年記念として設立されたタイ高橋財団を通じて1992年から理工系学生への奨学金給付、教育・研究機関への支援を実施。（累計約**3,000人**の学生に高等教育を支援）



奨学金給付（タイ）

当社株式の配当を財源とする高橋経済産業研究財団が**毎年大学等**に対して行う**研究助成金（2019年実績 195件 総額336百万円）**を通して高等教育を支援。

東日本大震災で両親を失った児童**138名**に対し、中学校卒業までの学費を育英資金として返済義務なしで毎年提供。（14年間）



東日本大震災育英資金  
卒業イベント

日本で新型コロナウイルス禍で困窮した学生を対象とした学費支援型採用プログラムを導入。（2020年7月）

小学校高学年から中学生を対象とした、科学的思考を育てる次世代人材育成プログラム「慶應義塾大学ジュニアドクター育成塾」を2019年から支援。

秋田県立大学が学生支援を目的に設立した「ふるさと元気創成基金」に寄附。

## 教育支援

### SDGs17の目標



質の高い教育を  
みんなに



産業と技術革新の  
基盤を造ろう



質の高い教育を  
みんなに

初等教育の水準に課題がある地域では、**母国語の教育学校**を運営して識字率の向上に貢献。2013年にスタートしたカンボジア工場のクメール語教室の修了者は1万7千名。



クメール語教室（カンボジア）

フィリピンで近隣の大学と協力して、学生に高度で実践的な教育を提供するRobotics Laboratory Programを実施。フィリピンでは大学にしっかりした機械設備が無い事がエンジニア不足の原因となっているため、近隣の大学構内に機械設備を提供すると同時に、当社の工場内の設備も利用して当社の従業員が授業を実施。これまでに452名の学生がこのプログラムに参加。また業界での実務経験がない大学教員を対象にした教員学習プログラムを実施。これまで45の大学から187名の教員が参加。



Robotics Laboratory Program  
（フィリピン）



教員学習プログラム（フィリピン）

メキシコ工場が近隣の職業訓練校と連携して学生の技術向上を支援。職業訓練校と工場のどちらでも学ぶことができるデュアルプログラムを提供し、学校で学ぶ事だけでなく、実地経験を積むことで、学生の社会人へ向けての自己成長および技能向上など学びの定着に貢献。



メキシコ職業訓練校

## 教育支援

### SDGs17の目標



質の高い教育を  
みんなに

ドイツ子会社MTCEが近隣の2つの大学で、出張講義を実施、  
(それぞれの大学で年1回ずつ) また技術部門で中学生の職場体  
験学習を受け入れ。(年5~10名)



大学での出張講義 (ドイツ)

国内工場での職場体験学習をこれまでに中学生・大学生合  
せて13組受け入れ、小中学校での出張講義を5回実施。



看護学科学生の産業保健実習  
受け入れ (軽井沢工場)

タイ、カンボジア、フィリピンの工場で近隣の学校の  
建て替え・整備への協力、机・いす・図書館・図書を寄贈。



建て替えた近隣の学校の  
外壁を塗装 (タイ)



近隣の学校に机といすを寄贈 (タイ)



寄贈した図書館 (タイ)



## 地域貢献 地域社会との対話

### SDGs17の目標



住み続けられる  
まちづくりを

主要工場（軽井沢、浜松、米子、山形、千歳、タイ・アユタヤ）の自治体の皆様との懇談会を実施し、防災計画や地域振興をはじめとする幅広い内容についての意見を交換。（20回）

### 災害対応

当社ヘリポートを災害時に活用してもらうため、御代田町と2013年10月に「災害時支援協定（緊急ヘリポート）」を締結。更に翌年10月に御代田町消防署と「ドクターヘリのヘリポート使用に関する覚書」も締結。

タイで近隣の市の要請に応じて工場消防隊の消防車と隊員を出動させ消火活動を支援。2019年、2020年とも年間出動回数は8回。

### 献血活動

長年の献血活動への協力に対して日本赤十字社から千歳事業所は「金色有功章」を（2017年7月）、広島工場は「銀色有功章」を受賞（2015年7月）。

日本赤十字社  
「金色有功章」



日本赤十字社  
「銀色有功章」



中国・珠海の工場内で毎年2回献血を実施。2020年度の献血者は300名。



自治体の皆様との懇談会  
（軽井沢工場）



ドクターヘリ



工場消防隊の消防車(タイ)



中国・珠海工場内での献血

## 地域貢献・イベント、スポーツ支援

### SDGs17の目標



住み続けられる  
まちづくりを

カンボジアで最も人気のあるスポーツである  
サッカーのカンボジア代表チームを2019年6月から支援



サッカーカンボジア代表チーム

全国の工場・事業所が所在する  
地域の地元開催イベントを協賛（11件）



長野県北佐久郡御代田町の  
龍神まつり



秋田県大曲の花火

カーリング大会  
「ミネベアミツミカップ」を2009年から協賛  
「米子市民レガッタ」を2018年から支援



カーリング大会  
(ミネベアミツミカップの様子)



米子市民レガッタに参加した  
米子工場チーム

## 地域貢献 交通安全活動

### SDGs17の目標



すべての人に  
健康と福祉を

交通事故予防のためタイ・ロッブリ工場前の道路の歩道橋建設に協力。(2018年10月)

タイで県の陸運局と協力して、大学生など若年二輪ドライバーが関与する交通事故を減らすプロジェクトを実施。  
ヘルメット着用を支援するため、運転技術の訓練・試験に合格した学生向けに、ヘルメット1,000個を寄贈。(2019年8月)

日本各地の交通安全協会やトラック協会の交通安全活動に参加し、地域の交通安全意識の高揚に協力。



ロッブリ工場前の道路に建設された歩道橋 (タイ)



二輪安全運転講習会 (タイ)

## 清掃活動

米子工場が宍道湖・大山など景勝地での清掃活動に毎年参加。

中国の珠海工場が工場近隣 (年2回) や景勝地 (年1回) で清掃活動を実施。

藤沢工場、多摩事業所、千歳事業所、九州事業所、高塚事業所、秋田事業所が事業所周辺の清掃活動を毎年実施。

厚木事業所が相模川、山形事業所が蔵王の清掃活動に毎年参加。



ラムサール条約に登録されている  
中海・宍道湖の清掃活動



清掃活動 (中国・珠海工場)

## 地域貢献 啓蒙活動

### SDGs17の目標



すべての人に  
健康と福祉を

タイで2014年から毎年  
近隣の小学生に薬物乱用防止を啓蒙。



薬物乱用防止啓蒙活動の集合写真（タイ）

タイで近隣のお年寄りを対象にした健康教室を開催。  
(2018年5月)



近隣のお年寄りを対象にした健康教室（タイ）

## ボランティア、寄附

袋井市ふるさと防災寄付金推進委員会に2015年から5年間で5百万円を寄附。

アメリカ子会社ニューハンプシャーボールベアリングが米国最大（世界最大級）の非営利団体「ユナイテッド・ウェイ」が主催したチャリティゴルフトーナメントに参加。チャリティイベントの収益は貧困家庭への食事の提供やフードバンクの運営などさまざまな社会貢献活動展開をする資金となる。

アメリカ子会社ニューハンプシャーボールベアリングが、従業員の参加した様々なボランティア活動に対して寄附を実施。（カブスカウト・ガールスカウト・ボーイスカウト・地元の稚園・緊急医療・消防・災害時の避難所・ホームレスの支援等、年間30件程度）

SDGs17の目標



つくる責任  
つかう責任



パートナーシップで  
目標を達成しよう



パートナーシップで  
目標を達成しよう



つくる責任  
つかう責任

## 廃材の再利用

秋田事業所改築時にコンクリート破砕機を導入して、解体した基礎から鉄筋を取り除いた約2,500トンのコンクリートを砕石にし、4割にあたる1,000トンを新棟の周りや舗装道路の路盤等に再利用。

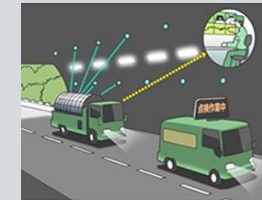


コンクリートを破砕した砕石を新棟の周りや舗装道路の路盤等に再利用（秋田事業所）

## 大学との共同実験

COIプログラム（\*）において、京都大学と共同で、京都府のトンネルでワイヤレス給電の社会的実証実験を実施。（2020年10月）

（\*） 文部科学省が支援している革新的イノベーション創出プログラム



ワイヤレス給電システムのイメージ

## イニシアティブへの賛同

2012年1月から継続して国連グローバルコンパクト（\*）を支持。

（\*） 企業が、人権・労働権・環境・腐敗防止に関する10原則を遵守し実践するための取り組み



## 第三者評価

ミネベアタイがCSR活動の取り組みに対してタイ工業省からCSR-DIW継続賞を2009年から12年連続で受賞



CSR-DIW継続賞受賞式（タイ）

当社では、株主の皆様・取引先・地域社会・国際社会・従業員をはじめとしたさまざまなステークホルダーに対して 社会的な責任を果たすとともに、持続的な企業価値の向上を目指していくという考え方のもと、コーポレートガバナンス・コードの各原則を全て実施するなど、ガバナンスの強化に努めております。

以下の事例は、そのなかでも当社として特徴的な活動と最近のトピックスについてピックアップしてお示ししたものです。

※コーポレートガバナンスコード対応につきましては当社ウェブサイトより「コーポレートガバナンス報告書」などをご参照ください。

[https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/aboutus/governance/basic\\_policy/](https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/aboutus/governance/basic_policy/)

## SDGs17の目標



平和と公正を  
全ての人に

ミネベアミツミグループの**経営理念**である『より良き品を、より早く、より多く、より安く、より賢く』つくることで**社会に貢献する**。を国内外拠点に自主製作の**Eラーニング**を駆使して社員への徹底した浸透を図る。  
(2020年12月末時点で約2万人が視聴)

コンプライアンスの実践がCSR推進において欠くことのできない要素であるという認識の下、当社グループの役員、従業員が適切な行動を選択する際の規範となる「ミネベアミツミグループ**行動規範**」(\*)を制定。

各国の法律に基づいた「**贈収賄防止規程**」を制定。

(\*)当社のWEBサイトご覧頂けます。

「ミネベアミツミグループ行動規範」：<https://www.minebeamitsumi.com/corp/company/aboutus/Conduct/declaration/>

## コーポレートガバナンスの取り組み

16 平和と公正を  
すべての人に

2019年にサステナビリティ推進部門を創設し、**執行と監視の分離を通じたガバナンス体制**を強化。

改正労働施策総合推進法（パワハラ防止法）施行に際して、全役員、管理監督社員に**ハラスメント研修**実施。（2020年度、受講者2,575名）

国内グループ各社で**コンプライアンス研修**を管理監督社員を中心に継続実施。  
（2020年度、受講者918名・31回）

役員および幹部社員向け**内部統制研修**の実施。  
（2020年9月、受講者80名）

2020年6月に**社外取締役を1名増員**し、併せて**指名・報酬委員会の社外委員も増員**。  
（社外委員4名、社内委員1名の体制）

**敵対的買収防衛策を非更新**とし、株主様からの企業価値向上提案に正面から向き合う企業姿勢を明確化。（2020年6月）

四半期ごとに年4回開催される**グループ執行役員会議**にて現地の経営課題を発信し、**全社共有する仕組み**を導入。

11 世み続けられる  
まちづくりを

**事業継続マネジメントシステムの国際規格ISO22301**の認証を  
タイのバンパイン工場（2017年1月）、ロップリ工場（2019年4月）、  
ロジャナ・ナワナコン工場（2020年2月）で取得。



当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。